

**平成31年度
ふるさと創生基金事業計画書**

平成31年4月1日

長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業実行委員会

事業テーマ

もっと
大好き
とちお



事業目的

◆ 地域資源の再認識

住民自身が地域資源を再認識することで自分たちの地域に誇りを持って住み続けられるよう、また、自信を持って栃尾の魅力を発信し、積極的に来訪者を受け入れていくことができるよう住民意識を高める。

◆ 交流活動の活性化

地域資源を活用したイベントの実施や積極的な情報発信により、交流活動を活性化させ、交流人口の拡大を図る。

事業の柱

1 とちお魅力アップ作戦

栃尾地域の住民が地域の宝である歴史や文化、自然を再認識するきっかけとなるような事業や、地域の課題を解決するための事業を展開する。

さらに、栃尾の魅力に磨きをかける事業を展開し、住民が誇りを持てる地域へと栃尾の魅力を高めることを目指す。

【個別事業】

- 地域の宝ブラッシュアップ事業
- 子どもの健康づくり推進事業
- 地域と若者との交流促進事業
- 大人の自由研究事業



2 リピーター倍増作戦

地域資源を積極的に活用した地域住民が主体となって取り組む事業を展開し、栃尾の魅力をPRすることによってリピーターの増加を目指す。

【個別事業】

- 親子で挑戦！
 - 小学生道院自然体験塾事業
- トチオノアカリ支援事業
- 守門大岳紅葉登山ツアー事業



平成31年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	地域の宝ブラッシュアップ事業
概要	<p>[目的]</p> <p>旧石峠街道や石峠の山城遺構など、入東谷地域にある地域資源を観光資源としてブラッシュアップし、交流人口の拡大につなげる。</p> <p>入東谷地域の6集落が連携して事業に取り組むことによって、入東谷地域全体の活性化を目指す。</p> <p>[事業内容]</p> <p>1. 石峠街道の整備 栗山沢からの散策ルートを整備（雑木伐採・除草）して、松尾からの散策ルートにつなぎ周遊コースの完成を目指す。</p> <p>2. 散策ツアーの開催 周遊コース完成後、一般市民向けに石峠・松尾城の旧石峠街道の散策ツアーを開催する。</p> <p>3. 街道の案内標識等の設置 街道標識と街道周辺に案内標識を設置する。</p>
実施主体等	入東谷活性化プロジェクト
スケジュール	<p>4月下旬 栗山沢ルートを下見</p> <p>6月 街道整備着手</p> <p>10月 案内標識設置、散策ツアー開催</p>
予算	<p>助成金 500,000円</p> <p>標識設置費、街道整備費、勉強会経費（講師謝金等）、ほか</p>

平成31年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	子どもの健康づくり推進事業
概要	<p>[目的]</p> <p>現代の子育てを取り巻く環境は、少子化、インターネットの普及、家族形態の変化から複雑に変わってきている。子どもとの関わり方に悩む保護者が多く、「子供にどのように関わり、声がけしたら良いか分からない」という保護者の声を聞く。</p> <p>栃尾地域の子供たちが、将来自立した大人に成長するために、保護者としてどう向き合えば良いかを、講演と参加者同士の意見交換によって学ぶ機会とする。また、家庭と学校、地域関係者が連携し、子育てしやすい地域づくりを推進する。</p> <p>[事業内容]</p> <p>子育て講演会の開催</p> <p>時期＝平成31年7月頃</p> <p>会場＝栃尾産業交流センター てまりホール</p> <p>内容＝思春期を中心とした子どもとの関わり方の講演、参加者同士の意見交換会</p> <p>講師＝東京成徳大学大学院教授 田村節子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市PTA連合会栃尾ブロックと合同で開催する。 ・思春期は乳幼児期からの子育ての延長上にあることを周知し、幼少期から関心を持ってもらえるように、保育園・幼稚園、小・中学生の保護者等にチラシを配布する。
実施主体等	<p>栃尾地区子どもの健康づくり推進連絡会 (事務局：長岡市栃尾支所市民生活課)</p>
スケジュール	<p>4月～ 広報チラシ作成</p> <p>5月 PTA役員との打ち合わせ 広報及び参加者募集</p> <p>7月 子育て講演会開催</p>
予算	<p>助成金 450,000円</p> <p>講師謝金(旅費含む)、広報費(チラシ作成)、諸経費</p>

平成 31 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	地域と若者との交流促進事業
概 要	<p>[目的]</p> <p>栃尾高校は、近年、生徒が地域に出向いて産業や文化について学び、地域の課題解決や郷土愛を醸成する活動を地域と協同して行ってきた。</p> <p>栃尾高校の地域における取組みを地域内外に広く知ってもらうとともに、栃尾の将来を担う高校生に地域への愛着を深めてもらうため、栃尾高校生と地域住民との交流を促進する。</p> <p>[事業内容]</p> <p>「来て見て作って！体験フェスティバル 2019」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃尾高校生徒の企画立案によって、地域住民との交流を図る出張文化祭を開催する。部活単位などで企画する体験型模擬店を主な内容とする。 ・イベントを通して栃尾高校の活動を紹介する。 <p style="text-align: center;">日時＝平成 31 年 8 月 10 日（土） 午後 1 時～4 時 ※予定 会場＝栃尾文化センター</p>
実施主体等	NKS・TRC 共同事業体 新潟県立栃尾高等学校
スケジュール	<p>4 月 部活、委員会ごとに内容を企画</p> <p>6 月 チラシ作成、広報開始</p> <p>8 月 イベント開催</p>
予 算	<p>委託料 380,000 円</p> <p>材料費、広報費（チラシ・ポスター作成）、諸経費</p>

平成 31 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	大人の自由研究事業
概 要	<p>[目的]</p> <p>山間部にある旧西谷小学校の校舎は、廃校になってから活用されることなくそのままになっており、地域の人も活用してもらうことを願っている。</p> <p>廃校校舎を活用して、地域内外の個人・企業等の知識や技術を表現する場としてイベントを開催することによって、地域資源として新たな活用方法を見出す。</p> <p>[事業内容]</p> <p>20 歳以上の成人が「自由なテーマ」で制作物や記録などの展示を行う。例えば、会場周辺地域の地域模型と空撮映像の展示や出展者がこれまでの人生で収録した秘蔵のコレクションなど知識や技術を得た大人だからできる自由な発想を表現する場としてイベントを開催する。</p> <p>会場 = 旧西谷小学校</p> <p>展示期間 = 8 月 11 日～25 日予定</p> <p>* 7～8 月の準備期間中に、校舎清掃イベントを開催</p>
実施主体等	とちラボ
スケジュール	<p>4 月 出展者の公募・広報</p> <p>5 月 出展者確定</p> <p>6 月 イベント広報</p> <p>7 月 準備</p> <p style="padding-left: 20px;">* 清掃イベント</p> <p>8 月 11 日～25 日 展示予定</p>
予 算	<p>助成金 530,000 円</p> <p>広報費（チラシ・ポスター作成、フェイスブック投稿等）、協力謝金、消耗品、ほか</p>

平成31年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	親子で挑戦！小学生道院自然体験塾事業
概要	<p>[目的]</p> <p>少子化や地域コミュニティの希薄化によって、子どもたちが自由に外で遊ぶ機会が少なくなっている。自然の中で親子、子供同士が体験や活動を通して得られる自信や達成感を醸成するため、道院高原の大自然を活用して、小学生親子の自然体験塾を開催する。</p> <p>栃尾地域の観光資源である道院高原を気軽に訪れてもらえるようPRして、地域内外に募集する。参加者アンケートを実施して、道院高原運営の参考資料とする。</p> <p>[事業内容]</p> <p>小学生親子で参加の「自然体験塾」を開催</p> <p>内容＝地元のアウトドア講師を招き、親子、参加者同士で協力してできる体験イベントを開催し、交流を図る。募集は栃尾地域または近隣の小学生親子20組（40名程度）</p> <p>会場＝道院高原</p> <p>開催時期 6・7・8月に毎月1回開催（何回でも参加可能）</p> <p>※雨天の場合は、道院施設を活用して開催</p>
実施主体等	道院高原交流イベント実行委員会
スケジュール	<p>4月 参加募集案内チラシ作成</p> <p>5月 栃尾地域の小学校にチラシ配布、新聞折り込み実施</p> <p>6・7・8月 道院自然院自然体験塾開催（毎月1回）</p>
予算	<p>助成金 300,000円</p> <p>参加費 60,000円（親子1組 1,000円）</p> <p>講師謝金、体験イベント委託費、 宣伝広告費（チラシ作成等）、ほか</p>

平成 31 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	トチオノアカリ支援事業
概要	<p>[目的]</p> <p>栃尾の中学生のアイデアから生まれ、若者の手によって実現された「とちお夜のランプ祭り」は、他のライブアップイベントとの同時開催により「トチオノアカリ」として大イベントに成長した。栃尾の魅力の一つとなったトチオノアカリへの参画を地域内外に広く呼びかけ、栃尾地域を情報発信して交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。</p> <p>若手世代が中心となって学校や保育園、各団体を巻き込み、活動を通して地域愛を醸成するまちづくりを支援する。</p> <p>[事業内容]</p> <p>とちお夜のランプまつり、秋葉百八風鈴灯などのライトアップイベントと、にぎわい委員会の秋葉門前ナイトマルシェを同時開催する。9月土日の2日間開催の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インスタレーション制作等を長岡市内に限らず広く呼びかけ、イベント開催を情報発信する。 ・協議会メンバーのそれぞれのネットワークを活かして、栃尾地域内外の若手世代の活動を繋いでいく。 ・ナイトマルシェへの出店、イベント開催中の店舗の営業等、地域経済の活性化を図る。
実施主体等	トチオノアカリ協議会
スケジュール	<p>4月 事業実施の体制確認</p> <p>5・6月 広報活動の準備・開始</p> <p>7月 ランプ作成の既存品の点検、追加</p> <p>8月 ワイヤー張り等事前準備</p> <p>9月 トチオノアカリ開催</p>
予算	<p>助成金 700,000円</p> <p>協賛金ほか 500,000円</p> <p>インスタレーション制作費、材料費、 広報費（チラシ・ポスター作成、フェイスブック投稿）、ほか</p>

平成31年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	守門大岳紅葉登山ツアー事業
概要	<p>[目的]</p> <p>守門岳は日本二百名山の一つであることや、花の百名山であることはあまり知られていない。その麓の道院高原で安全登山講習と守門大岳紅葉登山を2日間の日程で開催し、栃尾地域の自然の魅力をPRするとともに栃尾地域内外の交流人口の拡大を図る。</p> <p>参加者アンケートを実施して、守門岳を観光資源としてどうPRしていくか検討資料とする。</p> <p>[事業内容]</p> <p>2日間の日程で安全登山講習と守門大岳登山ツアーを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加は1日のみでも可能 ・宿泊希望者には道院高原ロッジ、キャンプ場の利用を案内 <p>1日目＝会場は道院高原</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全登山講習 ・自然を生かしたレクリエーションや体験イベント ・トークショー <p>2日目＝道院高原に集合して守門大岳紅葉登山</p> <p>※1日目雨天の場合は、道院高原施設を利用して開催</p>
実施主体等	道院高原交流イベント実行委員会
スケジュール	<p>9月 参加募集チラシ作成</p> <p>10月 安全登山講習、守門大岳紅葉登山ツアー開催</p>
予算	<p>助成金 500,000円</p> <p>参加費（大人1,500円、子供1,000円）</p> <p>講師等謝金、広報費（チラシ・ポスター作成）、保険料、委託費、ほか</p>

平成 31 年度栃尾地域ふるさと創生基金事業 個別事業実施団体概要

【新規事業分】

道院高原交流イベント実行委員会

代表者	武士俣 幸村
構成員数	10人
設立時期	平成 23 年 7 月
活動テーマ	道院高原を利用した地域との交流を含んだイベントの開催
団体発足の経緯と 活動内容	地域のシンボルである道院高原と地域が一丸となって誘客イベントを実施し、地域の活性化並びに交流人口の増加を図ることを目的に、栃堀区、栃堀山岳会、上来伝区、栃尾観光協会、栃尾施設管理合同会社が構成員となり結成された。これまでに自然体験を通じた地元と都会の子供たちとの交流事業や、道院高原の紅葉を楽しむトレッキングイベントなどを実施してきた。
活動履歴	平成 23 年度 自然体験を通じた市内・都会の児童交流事業 平成 24 年度 道院高原紅葉トレッキング 平成 25 年度 道院高原紅葉トレッキング 平成 26 年度 道院高原トレッキング 紅葉を楽しもう 平成 27 年度 田植え・稲刈り体験 平成 28 年度 子供祭り交流事業 道院高原復興 10 周年記念紅葉トレッキング

とち^{ラボ}Lab.

代表者	今井 善章
構成員数	10人
設立時期	平成 26 年 12 月
活動テーマ	「うらやましがられる栃尾」を目指して、栃尾地域の資源を見直し、編集し、発信し、世界に誇れる栃尾づくりのため実践・研究を行う。
団体発足の経緯と 活動内容	地域活性化ネットワークとちおが平成 26 年 11 月から 2 月に開催した「地域づくり楽習会」の受講者有志が、講座で学んだことを活かした活動を実践するため立ち上げた団体。 まち場の空き家を拠点として整備し、月 1 回のゴミ拾いイベントや多世代が集まる音楽イベント等を実施する他、主に Facebook を利用して、栃尾地域の産業や活動等の情報発信を行っている。
活動履歴	平成 27 年 ウェブページの開設 まち場の空き家を借り上げ拠点づくり 平成 28 年 移住向け冊子の作成発行（年 4 号発行） 平成 29 年 空き家を活用した各種イベントの実施（5 回） 動画での地域情報発信（動画 4 本）

平成 31 年度栃尾地域ふるさと創生基金事業 個別事業実施団体概要

【継続事業分】

入東谷活性化プロジェクト

代表者	諸橋 昇一
構成員数	6 人
設立時期	平成 29 年 1 月
活動テーマ	地域資源を活用した入東谷地区の活性化
団体発足の経緯と活動内容	過疎化と高齢化が進む入東谷地域において、集落間で連携した事業を行うことによって地域全体を活性化しようと、入東谷区長会が中心となって結成した。地域資源を発掘し、それを観光資源へとブラッシュアップすることで、交流人口の拡大に繋げることを目指す。
活動履歴	平成 28 年 10 月 具体的事業内容について検討 平成 29 年 2 月 事業実施体制について検討 平成 29・30 年 旧石峠街道整備（ふる創事業）

栃尾地区子どもの健康づくり推進連絡会

代表者	佐藤 義尚
構成員数	16 人
設立時期	平成 21 年度
活動テーマ	栃尾地区における子育ての課題を明らかにし、解決のための有効な支援策を検討する。
団体発足の経緯と活動内容	栃尾市時代から地域住民、保育園、幼稚園、学校、医療機関等、子どもを取り巻く関係者が参集し、「栃尾市子どもの健康づくり推進協議会」として、子どもの健康づくりを進めてきた。長岡市への合併とともに協議会が廃止されたが、協議会の構成員から無償でも継続していききたいとの希望が出されたため、「栃尾地区子どもの健康づくり推進連絡会」として継続して活動している。
活動履歴	平成 21 年度～ 年 2 回の定例会を開催し、子どもの健康に関する ことについて、生活習慣や発達障害等、課題を決めて参加機関の 取り組みについて情報交換し、それぞれの取り組みに活かしている。 平成 22 年度～ 発達障害を広く理解してもらうためにリーフレット を作成し、母子健診等で配布 平成 29.30 年度 栃尾地区子どもの健康づくり推進事業として子育て の課題解決のため講演会を開催し、相談窓口や医療機関などを 地図で紹介する「子育てマップ」を作成。（ふる創事業）

トチオノアカリ協議会

代表者	西片 吉邦
構成員数	20 人
設立時期	平成 28 年 6 月
活動テーマ	市民活動団体相互が連携し、イベント等を通して秋葉神社をはじめとした地域資源の発信と再認識を行い、地域の活性化を図る。
団体発足の経緯と 活動内容	<p>平成 27 年の「ながおか仕事創造アイデアコンテスト」で最優秀賞になった栃尾地域の中学校生徒の提案を実現するため発足。</p> <p>灯りのイベントを計画していた栃尾青年会議所、地域活性化委員会、とちラボの 3 団体と、にぎわい委員会のメンバーで構成。</p> <p>平成 28 年度に、秋葉公園ライトアップ、とちお夜のランプまつり、秋葉百八風鈴灯、秋葉門前ナイトマルシェの同時開催をした。</p> <p>トチオノアカリのほか、栃尾地域の小学校、中学校や他地域のイベント等でアカリの展示を実施。</p>
活動履歴	<p>平成 28 年 9 月 トチオノアカリ開催 (同日に 3 つのライトアップイベントの開催)</p> <p>平成 29 年 10 月 トチオノアカリ開催 (同日に 2 つのライトアップイベントの開催)</p> <p>平成 30 年 9 月 トチオノアカリ開催 (2 つのライトアップイベントを 1 つに統合して開催)</p>

平成 31 年度 栃尾地域ふるさと創生基金事業 予算書

[収 入]

(単位：円)

項 目	予算額	説 明
長岡市負担金	3,505,000	
合 計	3,505,000	

[支 出]

(単位：円)

項 目	予算額	説 明
地域の宝ブラッシュアップ事業	500,000	助成金
子どもの健康づくり推進事業	450,000	助成金
親子で挑戦！ 小学生道院自然体験塾事業	300,000	助成金
地域と若者との交流促進事業	380,000	委託料
トチオノアカリ支援事業	700,000	助成金
大人の自由研究事業	530,000	助成金
守門大岳紅葉登山ツアー事業	500,000	助成金
実行委員会運営費	145,000	委員謝金、消耗品費等
合 計	3,505,000	